

青鶴課題研究「レポートの書き方講座」ワークシート

研究分野（ ）

研究テーマ（ ）

全員の氏名（ ）

指導の先生（高校）（ ）

指導の先生（大学）（ ）

『7.結論』この研究で明らかにしたこと、成功したこと、たどり着いたところ ←まず、ここを手書きで書き出してみよう！

♪ これから得られるであろうことでもOKです(*^-^*)

チェック欄（スコアを記入してね）

	自己採点	先生の採点
結論		
結果からわかること		

（結論のループリック）自分たちでチェックしよう！担当の先生とディスカッションしよう！！

【スコア3】目的を意識して論理的に結論を導いている。

【スコア2】結論らしいものを書いているが、実験の目的を意識していない。

【スコア1】書いていない。書いている結論が不適当である。

（結果からわかるこのループリック）自分たちでチェックしよう！担当の先生とディスカッションしよう！！

【スコア4】筋道を立てて書き、さらに普遍的な結論を導こうとしている。

【スコア3】結論を導くために筋道を立てている。

【スコア2】書いているが、結論を導くための筋道が立っていない。結果からわかることが不足している。

【スコア1】書いていない。または根拠なく結果からわかることとして書いている。

♪ この他の項目は、この結論から逆算で考えてみよう！

♪ 班内で輪読したり、他の班の人に読んでもらって、たくさんのアドバイスを受けよう！きっと高校生活の思い出に残る、良いレポートになるよ！（大学入試でも利用できるかも！(^ ^)！）

『1. 目的』…手書きで書いてみてね

チェック欄(○を付けてね)

	自己 採点	先生の 採点
<u>結論と一致</u> している(結論で明らかにしたことを明らかにすることを目的としている)		
<u>SDGsの課題</u> を解決しようとしている		
<u>社会的意義</u> のある課題を解決しようとしている		
<u>科学的意義</u> のある課題を解決しようとしている		

『2. 先行研究』…手書きで書いてみてね。先輩の研究を含む。

チェック欄(○を付けてね)

	自己採点	先生の採点
先行研究等で <u>わかっていたことが明確にわかるように</u> 書いている		
自分たちの研究 で明らかにしたことが明確にわかるように書いている		

『3. 理論・定義』…手書きで書いてみてね

チェック欄(○を付けてね)

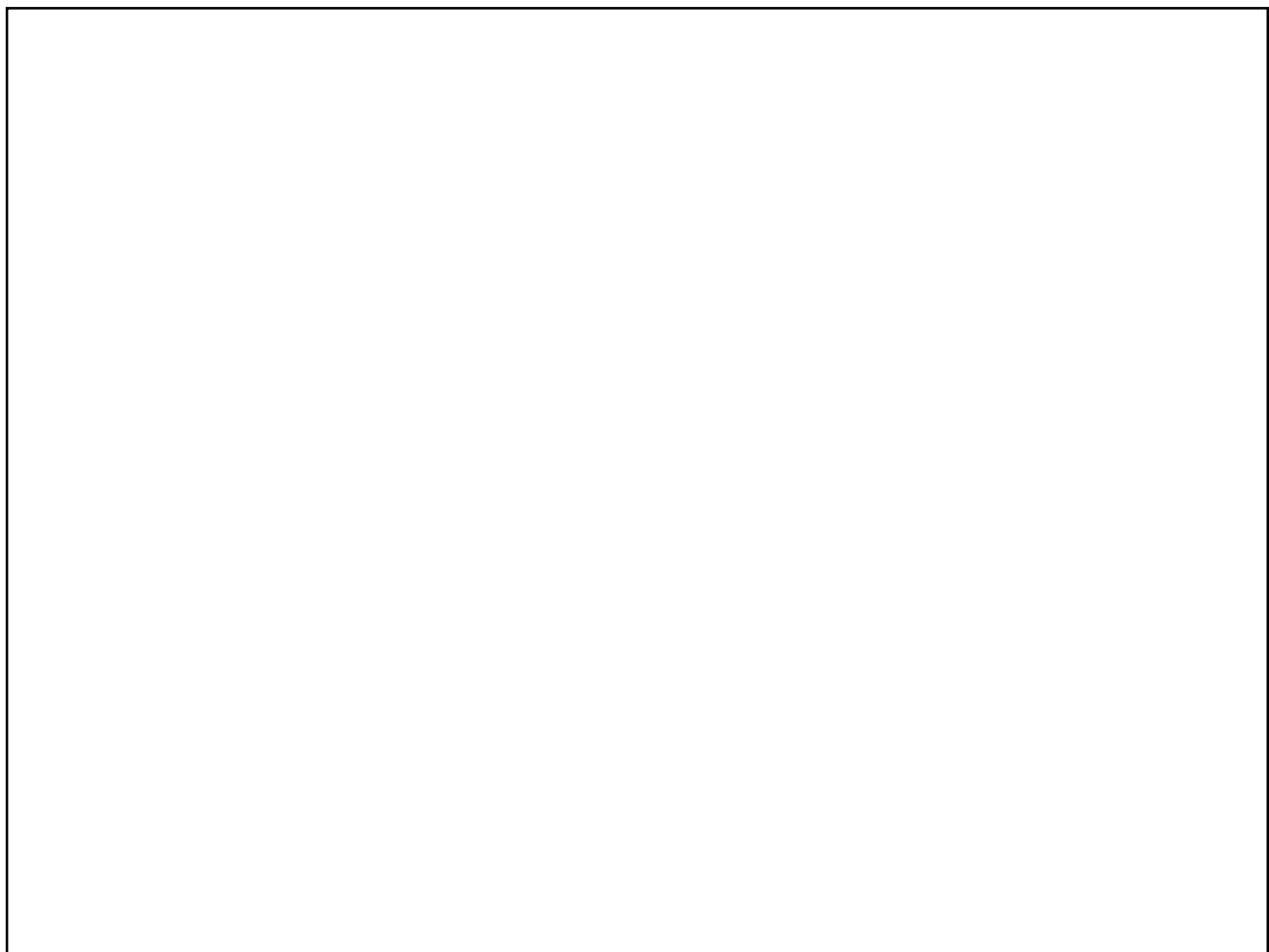
	自己採点	先生の採点
レポートを理解するために必要な 予備知識 が網羅されている。		

『4. 仮説』…プログラムの作成など、仮説の立てにくい研究は省略可

チェック欄(○を付けてね)

	自己採点	先生の採点
用いた実験操作で得られるであろうデータに関係した仮説を立てている。		
科学的に適切な仮説を立てることができている。		

『5. 実験 ①使用器具・試薬 ②手順』 フローチャートを書いてみよう!



フローチャートで書いたことを書き出してみよう

用いた実験器具

用いた試薬

実験手順

チェック欄(○を付けてね)

	自己採点	先生の採点
自分たちの実験に用いた器具や試薬を 過不足無く 書き出せている。		
自分たちの実験手順を 過不足無く 書き出せている。		
ここに記述している器具や試薬を用いて実験すると、 同じ実験が再現できる ように書いている。		

『実験 ③結果』…手書きで書いてみてね。何の結果をどんなグラフで示したいかも箇条書きしよう。

チェック欄(○を付けてね)

	自己採点	先生の採点
事実だけ を書いている(考察や感想を書いていない)。		
科学的な表現 を用いている(感情的な表現をしていない)		
グラフの種類を 示したい結果(オピニオン) で選択している。		

『6. 考察』…手書きで書いてみてね

チェック欄(スコアを記入してね)

	自己採点	先生の採点
考察		

(考察のルーブリック) 自分たちでチェックしよう! 担当の先生とディスカッションしよう!!

【スコア4】 普遍的な結論を導こうとしている。

【スコア3】 結論を導くための道筋を立てて書いている。

【スコア2】 結論を導くための道筋が立っていない。結論からわかることが不足している。

【スコア1】 根拠無く、結果からわかることとして書いている。

『8. 展望』…手書きで書いてみてね

チェック欄(スコアを記入してね)

	自己採点	先生の採点
研究によりさらに調べたくなつたことを書いている。		
今回はここまでだったが、もし研究を続けられるならここまでやつてみたかったということを書いている。		

『9.謝辞』…手書きで書いてみてね

チェック欄(○を付けてね)

	自己採点	先生の採点
佐賀大学の先生の名前を正確に書いています。		

『10.引用文献・参考文献』…手書きで書いてみてね

(図書の場合) 著者名. 書名. 出版社, 出版年, [総ページ数], [シリーズ名]

櫻井武. 睡眠の科学ーなぜ眠るのかなぜ目覚めるのかー. 講談社, 2010.

(雑誌の場合) 著者名. 論文名. 誌名. 出版年, 卷数, 号数, p.始め-終わり.

古重奈央. 小学校家庭科における片づけの学習の検討. 日本教科教育学会誌. 2019, vol.42, no.3, p.55-67.

(Web サイトの場合) 著者名. “ページ名”. サイト名. 更新日. 入手先 URL, (閲覧日).

中央教育審議会.“新しい時代の初等中等教育の在り方について”.文部科学省.
2019.

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1415877.htm, (参照 2022-06-30).

チェック欄(○を付けてね)

	自己採点	先生の採点
参考にした文献やWebサイトを過不足無く記載している。		
上記の「記載例」に準じて書いている。		

『要約』…手書きで書いてみてね

チェック欄(○を付けてね)

	自己採点	先生の採点
実験で明らかにしたことの 概要 を3行以内で書いている。		
相手(読者)が続きを読みたくなるように書いている。		

『タイトル』…手書きで書いてみてね。副題はなくてもOKです。

(主題)

(副題)

チェック欄(○を付けてね)

	自己採点	先生の採点
実験の目的が伝わるタイトルになっている。		
実験で明らかにしたことが伝わるタイトルになっている。		